

今週の
倫理

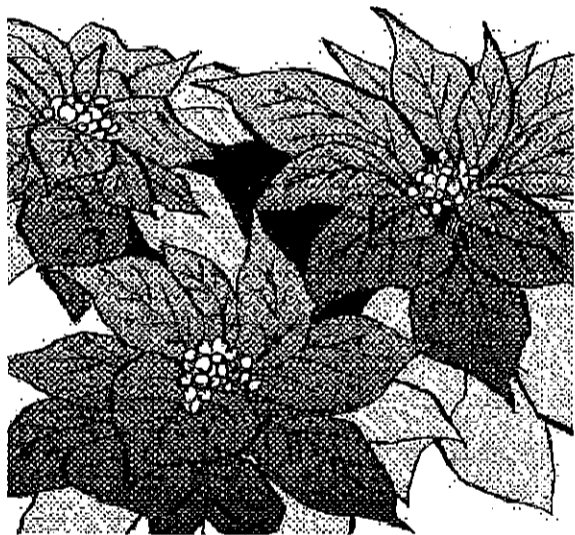
12/14(土) まいび(倫理)です。年和=相応しい「今週の倫理」です
「物境不離の原理」は物か物にあり居るには必ず場があり
物がないに場だけあると云う事はありません。 2013.12.14~12.20

「物境不離の原理」は物か物にあり居るには必ず場があり
物がないに場だけあると云う事はありません。 2013.12.14~12.20

851号

鳥-阿-蓮心

「僕自身のなかでは少し悔しさが残るフリ
ースケートディングになつてしまいました。が、
本当にたくさんの点数もいただきましたし、
ちよつと出来過ぎかなという気もします。4
回転サルコウ(※)を転倒してしまつたあと
も、きちんと演技をつなげられたのは大きな
収穫だと思っています。すぐに全日本選手権
があります。それに向けてしっかりと頑張
つていかなきゃいけないと思ひました」
(※フィギュアスケートにおけるジャンプの種類の一
つで、かつて、スウェーデンのウルリッヒ・サルコ
ウが初めて挑んだことに由来する)
十二月六日に福岡で行なわれたフィギュ
アスケート「グランプリファイナル」で男子
世界歴代二位の高得点で初優勝を飾つた羽
生結弦(ゆずる)選手は、自身の演技をそう
振り返りました。
羽生選手は、スケートリンクの氷を手で撫
でて、必ず競技場に挨拶をしてから演技に入
ります。そして、演技終了後ももう一度氷に
触れてリンクから離れます。これは、自分の
演技がどうであれ「これから演技をさせてい
ただきます。よろしくお願ひします」「今日
も精一杯滑らせていただきました。ありがと
うございました」と場に対して心を向ける姿勢
が現れたものです。
今大会の成果は、羽生選手の確実な演技と
華やかな表現力の賜物ですが、一方で、競技
に対するこのような真摯な姿勢がもたらした
結果ともいえるのではないのでしょうか。



絵・今谷 鉄柱

場に心を寄せて 調和を図る

「純粋倫理において、「物境不離の原理」と
いうものがあります。物は形を持ち、形を持
つという事は場や空間を占めて、そこには
つきりとした境があるということです。その
物と境が調和することによって、それぞれの
質が変わってくるという原理をいいます。
羽生選手は、リンクに挨拶をすることによ
って競技会場や観客と調和し、自身の最大限
のパフォーマンスを発揮できるように努め
ているのでしょう。

剣道や柔道など他の競技においても、試合
をする場に一礼してから競技が始まります。
私たち倫理法人会のモーニングセミナーで
も、会場に一礼してから入室する方は大勢
います。その「空間」に心を寄せることで、
自身の学びの質が向上したり、その場に調和
した心境を作り上げたりすることができ
るのです。

物境不離の原理の実践としては、場に挨拶
をする他に、「清掃」が挙げられます。「清掃
は心磨き」といわれますが、埃を払い、磨き、
場を清めることで、そこに居る人や物を良き
存在にしてくれるのです。

間もなく今年一年も終わろうとしていま
す。職場や家庭の大掃除の段取りを考えてい
る方も多いでしょう。一年の感謝を胸に清掃
活動に励み、お世話になった「場」を清める
ことで、今年一年の邪気を振り払いましょう。
清々しい心境で新年を迎えるための準備と
働きを心がけてまいりましょう。